

Copilotリテラシー診断（一部抜粋）

| 設問番号 | 問題 | 正答 | 誤答 | 解説 |
|-------|---|----|----|---|
| 1-01. | 「Microsoft Copilot」は、米マイクロソフト社が開発した対話型生成AIアシスタントである。 | ○ | × | 「Microsoft Copilot」は、ユーザーがコンピューターやアプリケーションを使うときに手助けをしてくれる対話型の生成AIツールです。たとえば、新しい文章を書くときにアイデアを出したり、集めたデータを整理したり、メールの返信文の作成をサポートしたりします。また、Copilotは世界中のあらゆる情報を提供したり、専門的な質問に答えたりすることもできます。たとえば、「生成AIの活用による日系企業のDX成功事例を10個教えて」と頼むと、すぐに回答を提示してくれます。Copilotは世界中のビジネスパーソンのデジタル業務を支える、優秀なAIアシスタントなのです。 |
| 1-02. | Copilotと他の生成AIツール（ChatGPT、Gemini、Claude等）との大きな違いは、①Microsoft365アプリケーションとの親和性、②企業や個人のデータを保護する高度なセキュリティ機能である。 | ○ | × | Copilotは、ユーザーが日々向き合うMicrosoft365アプリケーション（Excel、Teamsなど）との接続性がよく、日常的な業務を効率化できます。他の生成AIツールは、汎用的に使える一方で、特定のプラットフォームやアプリケーションに特化していないため、Microsoft365との親和性が低い場合があります。また、CopilotはMicrosoftのセキュリティ基準に従って設計されており、企業や個人のデータを保護するための高度なセキュリティ機能を備えています。他の生成AIツールもセキュリティ対策を講じていますが、Microsoftのエンタープライズ向けのセキュリティ基準に匹敵するかどうかはツールによって異なります。これらの違いにより、Copilotは特に企業における生成AI活用において他のツールとは異なる価値を発揮します。企業や個人の具体的な要件や使用環境により、最適な生成AIツールは異なります。 |
| 1-03. | インターネットブラウザ「Microsoft Edge」を使用すると、サイドバーにCopilotを表示できる。 | ○ | × | インターネットブラウザ「Microsoft Edge」を起動すると、サイドバーにCopilotが表示されます。たとえばWEBページの概要を要約するケースで、Copilotに「ページの概要を生成する」といった指示を入力すると、現在開かれているページの概要をまとめてくれます。WEBページの文章をすべてコピーして貼り付ける手間を削減できるのも、Copilotを活用するメリットといえます。 |
| 1-04. | Copilotは、回答の参考にしたインターネットの情報ソースをあわせて提示してくれる。 | ○ | × | Copilotはユーザーからの指示に応じた回答とあわせて、回答の参考にしたWEBページのURLも記載してくれるため、回答内容の信ぴょう性を比較的に確認することができます。最近では、ChatGPTやGeminiなどでも参照元が記載されるケースが増えていきます。 |
| 1-05. | 職場の組織アカウントでCopilotを使用するとき、データは厳重に保護されている。そのため、生成AIの利用に関する社内ルールを順守していれば、ユーザー側のセキュリティ対策は不要である。 | ○ | × | 職場の組織アカウントでログインした場合、Copilotとの対話内容が保護されるため、情報漏洩のリスクを抑えられます。職場アカウントでログインしているかどうかは、緑色の保護マークが表示されていることで確認できます。社内の生成AI利用ルールを順守したうえで、Copilotを活用していきましょう。 |
| 1-06. | Copilotの回答は100%正しいとは限らず、事実に基づかない情報を生成してしまうことがある。この現象を「ハルシネーション」と言う。 | ○ | × | 人工知能(AI)が事実に基づかない誤った情報を生成する現象のことを「ハルシネーション」といいます。この現象は、生成AIが回答を確率的に生成することや、学習データに誤った情報が含まれていることなどに起因して発生します。生成AIの回答精度が日々向上しているとはいえ、生成AIの回答を検証する意識が重要です。 |
| 1-07. | Copilotを使いこなせていれば、たとえ Microsoft365アプリケーションの基礎知識がなくても、すべての業務を効率化できる。 | × | ○ | Copilotは非常に強力なツールであり、多くの業務を効率化することができます。しかし、Microsoft365のベーススキルがない場合、最大限の効果を発揮することはできません。Copilotはユーザーの指示に基づいて動作しますが、ユーザーが適切な指示を出すためには、アプリケーションの基本的な機能や操作方法を理解する必要があります。たとえば、Excelで複雑なデータ分析を行う場合、関数やデータの整理方法を知らなければ、Copilotに正確な指示を出したり、Copilotが解析しやすいデータに整形したりすることはできないのです。また、クリエイティブな作業や高度な専門知識を必要とする業務では、ユーザー自身のスキルや知識が不可欠です。たとえば、PowerPointで効果的なプレゼンテーションを作成するには、デザインの基本原則や視覚的なコミュニケーションのスキルが求められます。Copilotはこれらの作業を支援することはできますが、完全に代替することはできません。さらに、Copilotを活用して企業における情報資産をすべての社員が有効利用するためには、普段の社内コミュニケーションやデータ管理の段階から、情報を適切な場所に格納しておかなくてはなりません。そのため、TeamsやSharePointなどを通じたクラウドの仕組みを把握しておく必要があるのです。 |